

【高知—台湾】定期チャーター便の運航延長が決定されました。

高知—台湾間の定期チャーター便が2024年10月26日まで運行を延長することになりました。以下、高知新聞社の記事を引用します。

台湾の格安航空会社(LCC)「タイガーエア台湾」が高知龍馬空港と台北近郊の桃園国際空港の間で運航している定期チャーター便が、10月末まで延長されることが決まった。浜田省司知事が21日の県議会2月定例会で明らかにした。

同便は高知空港初の国際定期チャーター便として、昨年5月に就航。180人乗りの航空機を水、土曜の週2便運航している。当初は同10月末までの予定だったが、平均搭乗率9割超と順調に推移し、タイガー社は今年3月末までの延長を決定していた。

就航から今年1月までの利用者数は約1万2千人に上り、今回さらに10月26日まで運航期間が延長されることになった。県民ら一般客向け(25席)の販売も継続される。

浜田知事は「観光面や文化面で台湾との交流拡大を図り、次なる目標である定期便化につなげる」と強調。「定期便化に必要な空港の新ターミナルビルは2025年度完成を目指して着実に整備を進め、台湾以外からのチャーター便就航に向けた誘致活動も積極的に取り組む」と述べた。

【まとめ】

高知県観光政策課によると、2023年1年間に高知を訪れた観光客数は、過去最多の(推計)472万2千人あまりとなっています。今回のように、台湾とのチャーター便の運航延長が決まることで、定期便化や各国からのチャーター便就航にもつながり、高知の経済が潤うことも期待できます。

弊社も、不動産を通して高知の街の活性化に務めて参ります。心のこもったご提案をさせていただきますので、不動産のご売却・ご購入に関することはあなぶき不動産流通にご相談ください。

【出典】

『高知—台湾チャーター便が10月末まで延長 タイガーエア台湾』、高知新聞社、2024年2月22日最終閲覧

『【高知】観光客数《過去最多472万》朝ドラや台湾定期チャーター便効果も後押し』、高知さんさんテレビ、2024年2月21日最終閲覧